

平成29年度予算の概要

一般会計予算を4日間集中審査

新公会計制度を導入して2年目となる平成29年度一般会計予算を審査しました。

事業の内容や財源を盛り込んだ予算説明書等により、組織別に審査しました。

今定例会に提出された一般会計予算248億1千万円を、予算審査特別委員会で4日間にわたり慎重に審査し、通算6日間にわたる審査の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

また、特別会計予算148億5692万3千円が提出され、建設環境委員会及び市民厚生委員会で慎重に審査し、通算6日間にわたる審査の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般会計予算の審査から

29年度の都政の影響は

問 都政の影響は本市予算へどう反映しているか。

答 本市の29年度予算における都支出金は35億2637万9千円で、歳入全体の14.2%を占め、影響は非常に大きい。前年度比で3億4285万9千円、10.8%の増、市町村総合交付金が2億円増、待機児童解消区市町村支援事業補助金が8162万1千円の皆増、市町村土木補助事業補助金が1850万3千円増である。貴重な財源であり、更なる確保に努める。

再編交付金の終結

問 多くの事業に充当しているが、基準等を伺う。

答 同交付金は、市町村が実施するさまざまな施策に要する経費の財源補完制度である。本市は、ハード事業では、大規模事業のほか、補助率の少ない事業、一般財源の負担が大きい事業を中心に充当している。一方、ソフト事業では、可燃物・不燃物収集運搬委託や消防事務の都委託費負担金など、継続性があり、一般財源の負担が大きいものに充当している。

都の市町村総合交付金

問 コンビニ交付システムの詳細は。

答 コンビニ等のキオスク端末を市民の方が自ら操作して住民票等の証明書を申請すると、地方公共団体情報システム機構が実施するさまざまな施策に要する経費の財源補完制度である。本市は、ハード事業では、大規模事業のほか、補助率の少ない事業、一般財源の負担が大きい事業を中心に充当している。一方、ソフト事業では、可燃物・不燃物収集運搬委託や消防事務の都委託費負担金など、継続性があり、一般財源の負担が大きいものに充当している。

証明書のダウンロード

問 地域防災計画改定委託の内容について伺う。

答 都は24年度に首都直下地震や立川断層帯地震等の被害想定を見直した。本市はそれをもとに25年度に地域防災計画を改定した。それから約5年経過し、地震や集中豪雨による風水害など新たな災害も発生しているため、国や都等の新たな取り組みを踏まえて修正する。29年度開設の防災食育センターが行う災害時の活動等も盛り込む予定である。

地域防災計画改定について

問 ベースサイドストリート観光事業について

答 ベースサイドストリート観光事業委託料の増額の理由は、

ベースサイドストリート観光事業について

問 具体的な内容は。

答 保育料の助成額上限を撤廃し入園料も助成するので、認可保育園と同じ保育料で認証保育園の利用が可能となる。この

福祉センター設備改良事業について

問 事業の詳細やスケジュール等について伺う。

答 経年劣化による各設備の老朽化が著しく、施設全体に及ぶ改良工事となる。デイサービス事業等で長期間の休館が難しく代替施設等もないため、開館しながら部分ごとに工事する計画である。空

認証保育園運営助成事業について

問 具体的内容は。

答 保育料の助成額上限を撤廃し入園料も助成するので、認可保育園と同じ保育料で認証保育園の利用が可能となる。この

富士見通り線整備事業

問 整備業務委託料の内容と予算増の理由は。

答 29年度も公益財団法人東京都市づくり公社へ業務委託する。主に用地買収交渉や補償費の算定等の事務費と諸経費8313万240円、土地の時点修正等調査設計費46万2963円、取得した用地の管理工事費236万1112円の合計9283万660円。29年度は用地買収交渉が本格化し、物件調査等の事務費と諸経費等の委託料増によるもの。

新扶桑会館整備事業

問 防衛補助を活用した

答 新扶桑会館整備事業だが、建築が終了すれば、現在の扶桑会館の解体が始まる。その費用は工事請負費に含まれているのか。

答 工事請負費は建築に係る費用のみで1億2千万円である。現在の扶桑会館の解体費用は含まれていない。なお、解体に係る費用については、29年度は設計負担金として20万円計上している。



▲平成29年度一般会計予算を起立多数で可決

平成29年度 各会計別予算規模 (人口29.1.1現在 58,554人)

会計区分	29年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額
一般会計	248億1,000万円	△0.3	42万3,712円
特別会計			
国民健康保険特別会計	80億1,756万9千円	1.0	13万6,926円
介護保険特別会計	40億5,106万4千円	2.8	6万9,185円
後期高齢者医療特別会計	11億2,945万6千円	4.2	1万9,289円
下水道事業会計	16億5,883万4千円	0.4	2万8,330円
総合計	396億6,692万3千円	0.4	67万7,442円

平成29年度 一般会計予算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合

